

## 国際化学肥料ニュース（2024年3月）

- \* インドからの消息によれば、インドが主要加里メーカーとの間に行っている2024年塩化加里輸入基本契約に関する交渉はほぼ合意に達し、4月に正式に締結するという。昨年から加里肥料国際相場の下落が続いている現状を受け、基本契約では2024年の塩化加里 CFR インドを290 ドル／トンにして、前年の422 ドル／トンより 132 ドルも下がる噂である。
- \* 3月6日に開催された中国窒素工業協会主催の「2024年春季窒素肥料市場情勢分析会」に於いて、2023年中国窒素肥料（N換算）生産量が8.6%増の4486.7万トン、そのうち尿素実生産量が9.2%増の6291.5万トン。また、窒素肥料輸出量が31.9%増、国内消費量（N換算）が5.6%増の3841.2万トン、尿素の国内実消費量が7.1%増の5866.8万トンと発表された。また、中国の尿素生産能力は2023年末に7381万トンに達し、2022年末より216万トンを増加した。
- \* インド税関の速報によれば、2023年インドが中国から計544万トン化学肥料を輸入して、前年より62%も増加し、金額も12%増の25.9億ドル、輸入先の第1位となつた。第2位の輸入先はロシアで、化学肥料輸入量が540万トンである。
- \* 3月15日、インドRCF社が尿素の国際入札を発表した。3月27日締切りと開札、購買数量未定、5月20日までの船積みが唯一の条件である。これは今年インドの初の尿素購買国際入札である。
- \* 中国税関の速報によれば、2024年1月の中国化学肥料輸出量171万トン、その内訳は硫安103万トン、尿素1万トン、DAP11万トン、MAP9万トン。2月の中国化学肥料輸出量129万トン、その内訳は硫安82万トン、尿素1万トン、DAP1万トン、MAP1万トン。中国政府は2023年11月から化学肥料の輸出をさらに厳しく規制するため、1~2月の化学肥料輸出量が16.1%減の300万トン、そのうち尿素輸出量が94.9%減の2万トンしかなく、DAP輸出量も68.8%減の12万トン、MAP輸出量も71.3%減の10万トンに留まった。  
1月の中国化学肥料輸入量167万トン、その内訳は塩化加里176万トン、NPK化成肥料11万トン。2月の中国化学肥料輸入量97万トンその内訳は塩化加里88万トン、NPK化成肥料8万トン。1~2月の塩化加里輸入量が63.2%増の264万トン、NPK化成肥料も43.2%増の19万トン。

\* 3月第4週（18～24日）の尿素国際相場は下落を続いている。主な理由は主要輸入国の需要が低迷で、輸入の動きが鈍いことと3月27日に開札されるインドRCF社の尿素国際入札に低い価格で応札される可能性があることである。

西半球ではエジプトとアルジェリア大粒尿素のFOB価格が前週より15～20ドルも下落し、340ドル／トン台になり、中東湾岸大粒尿素も340～350ドル／トンに下落した。一方、ロシア尿素は引き続きFOB280～310ドル／トンの安い価格を維持している。

東半球ではインドの尿素国際入札に注目を集めている。中国の尿素輸出が厳しく規制されている現状では、主にロシア尿素と中東尿素が応札される見通しである。応札価格が適宜であれば、100万トン以上を購入するが、応札価格が高い場合は、購入数量が大幅に減らす噂がある。2月末にインド国内尿素在庫量が約800万トン、5月からのカリーフシーズン（5～9月）の需要に対応できるという。

\* 3月第4週（18～24日）のりん安国際相場は安定している。インドRCF社が3月18日に開札されたDAPの国際入札に5社が応札し、最低応札価格はAries社のCFR579.19ドル／トンとAgrifields社のCFR579.39ドル／トン。RCF社は両社から計10万トンDAPを購入する。パキスタンはDAPの在庫が充実で、5～6月までに多量の輸入がないと推定される。

中国りん安の輸出は4月から再開される見通しである。すでにCFR590ドル／トンでフィリピンに8000トンDAP、CFR610ドル／トンでメキシコに3万トンDAP、FOB445ドル／トンで南米に2万トン粒状MAPの販売を契約した。

ほかにサウジアラビアMa'aden社はブラジルに7.5万トンMAP、ヨルダンJPMC社はFOB550ドル／トンでインドにDAP、モロッコOCP社はFOB595～610ドル／トンでEUに1.2万トンDAP、エジプトNCIC社はFOB610ドル／トンでアメリカに3万トンDAPを販売した。

\* 3月27日に開札されたインドRCF社の尿素国際入札に17社が応札し、応札数量315.16万トンに達した。最低応札価格はCFR東海岸347.7ドル／トン、CFR西海岸339.0ドル／トンである。2024年1月4日開札された前回の尿素国際入札に比べ、CFR東海岸が18.3ドル、CFR西海岸が22.2ドル上がった。

但し、インド国内尿素生産量と在庫量が多く、6月からの雨季（カリーフシーズン）需要に満たすことができる。尿素国際入札を行なう理由は政権を担当する与党が4月19日からのインド総選挙に対応して、農家に姿勢を見せる行動に過ぎず、応札価格の高い場合は、購買数量減らすかキャンセルの可能性がある。

\* 3月第4週（18～24日）の硫安国際相場は中国が若干下落して、ヨーロッパが安定している。ロシア産硫安のFOBバルト海は164～174ドル／に小幅に下落したが、ドイツやオランダ産のカプロラクタム副生粒状硫安のFOB価格は238～319ドル／トンに安定している。また、ロシアのPhosagro社は粒状硫安の生産能力を36万トン増強して、年間66万トン粒状硫安を生産することができるという。

中国産硫安が引き続きゆっくり下落して、カプロラクタム副生硫安のFOB価格が123～130ドル／トン、鉄鋼副生硫安のFOB価格が110～115ドル／トンになった。東南アジアとインドは中国硫安を購入する動きが盛んになったが、最大輸出先のブラジルは動きが非常に鈍い。

\* インドネシアPupuk社は3月上旬に行った塩化加里の国際入札にCFR302ドル／トンの応札価格で2社から7.5万トン塩化加里を購入することになる。また、ほかの応札者にも同じ価格で交渉を継ぎ、さらに多くの塩化加里を確保したいと発表した。

### 大手各社の営業業績

\* カナダのNutrien社は2023年の業績を発表した。年間加里肥料販売量が5%増の1322万トンだが、加里肥料価格の急激な下落で、総売上高が13.3%減の250.96億ドル、純利益が83.3%減の12.82億ドル。

\* アメリカのMosaic社は2023年の業績を発表した。化学肥料の価格下落で、売上高が28%減の137億ドル、そのうち加里肥料販売量が9.9%増の890万トンだが、売上高が38%減の32億ドル、りん酸肥料販売量が6.1%増の700万トンだが、売上高が24.2%減の47億ドル。年間純利益が67%減の12億ドル。

\* アメリカのCF Industries社は2023年の業績を発表した。化学肥料価格の大幅な下落で、売上高が40.8%減の66.3億ドル、純利益が54.4%減の15.3億ドル。生産と販売の内訳は、アンモニア生産量が3.2%減の949.6万トン、販売数量354.6万トン、尿素生産量が0.4%減の454.4万トン、販売数量457万トン、UAN（尿素硝安液肥）生産量が2.2%増の685.2万トン、販売数量723.7万トン、硝安販売数量157.1万トンなど。

\* イスラエルのICL社は2023年の業績を発表した。加里生産量が5.8%減の442万トン、販売数量が4.1%増の468.3万トン。総売上高が24.8%減の75.36億ドル、純利益が70.0%減の6.47億ドル。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* チェコの BorsodChem 社は最先端の生産能力 450MTPD の弱硝酸(WNA)プラントを建設する。プラントの建設を全体的に一括して請け負うのはイスの Casale 社である。このプロジェクトの特徴は、硝酸製造プロセス中に生成される余剰蒸気を利用し、電気エネルギーを生成できることである。これにより、プラント全体的なエネルギー効率が向上するだけでなく、持続可能な実践と資源の最適化にも役立つという。
- \* 中国窒素肥料工業協会の発表によれば、2024 年に新規アンモニアプラントと新規尿素プラントの完成により、アンモニア生産能力 220 万トン、尿素生産能力 469 万トンが増加される見通しである。1~6 月の上半期だけでアンモニア生産能力 220 万トン、尿素生産能力 335 万トンが増えるという。表は 2024 年中国完成予定の新規尿素生産プラントの一部を示す。

会社名	尿素プラント所在地	尿素生産能力	稼働開始時期
甘肅劉化	甘肃省	35 万トン	2024 年 3 月
建元煤焦化学	内モンゴルオトク旗	40 万トン	2024 年 6 月
華魯恒昇	湖北省荊州市	52 万トン	2024 年 12 月
安徽泉盛	安徽省	40 万トン	2024 年 12 月
江蘇晉煤恒盛	江蘇省徐州市	60 万トン	2024 年 12 月
億鼎生態	内モンゴルオルドス市	52 万トン	2024 年 12 月
河北正元	河北省滄州市	52 万トン	2024 年 12 月
陝西煤化化工	陝西省渭南市	80 万トン	2024 年 12 月
山東晉控日月新材料	山東省濟南市	26 万トン	2024 年 12 月

- \* ロシアの EuroChem 社はブラジルの Minas Gerais 州 Serra do Salitre にりん鉱山の開発とりん酸肥料工場を建設することを発表した。当該プロジェクトは投資額約 10 億ドル、完成後のりん酸肥料年間能力 100 万トン、全量ブラジル国内に供給するという。
- \* スウェーデンの Cinis Fertilizer 社は Örnsköldsvik 市に建設している硫酸加里プラントは順調に進捗して、すでに原料とする塩化加里と硫酸ナトリウムを原料倉庫に入れることになり、2024 年上半期に稼働することが確実となった。当該プロジェクトは年間 10 万トン硫酸加里を生産すると計画され、2023 年 2 月から着工し、2024 年第 1 四半期に完成する予定である。
- \* オーストラリアの Kalium Lakes 社は資金不足で、西オーストラリア州 Pilbara に開発中の Beyondie 硫酸加里プロジェクトを中止し、会社を清算する準備に入った。同じオーストラリアの加里開発業者 Reward Minerals 社は Kalium Lakes 社の買収に手を挙げたが、銀行やファンドから買収資金を調達できず、断念した。

\* カナダの Genesis Fertilizers 社はサスカチュワン州 Belle Plaine に窒素肥料工場を建設することを発表した。このプロジェクトはアンモニア生産能力 1500 トン／日、尿素、硝酸、UAN（尿素硝安液肥）生産能力 2600 トン／日と計画して、ドイツの Thyssenkrupp Uhde 社に Pre-FEED（フロントエンド エンジニアリングおよび設計）を依頼する。

## その他

\* アメリカ上院議員 Sherrod Brown（民主党-オハイオ州）、Thom Tillis（共和党-ノースカロライナ州）、Tammy Baldwin（民主党-ウィスコンシン州）、Roger Marshall（共和党-カンザス州）、Pete Ricketts（共和党-ネブラスカ州）、Rick Scott（共和党-フロリダ州）は共同で上院に内務省の重要鉱物の最終リストにりん酸塩と加里を含める超党派の法案を提出した。法案はアメリカの農家に対する強力かつ持続可能な国内肥料供給を確保することの重要性を認識させることである。

アメリカは必要な加里の約 95% を輸入しており、その大部分はカナダから来ている。加里の生産国は世界でわずか 14 か国だけで、ベラルーシとロシアが世界生産量のほぼ 40% を占めている。りん酸肥料に関しては、中国が世界生産量の 40% 以上を占めている。アメリカにはりん酸塩と加里の両方の生産があるが、既存鉱山の拡張と新しい鉱山の開発は、環境審査に数～10 数年に及ぶ費用と時間のかかるプロセスであり、許可だけでも数千万ドルかかる。法案提出の目的は「私たちの食卓に食料を置く上でこれらの鉱物が果たす役割を認識し、国として自国の農業の将来を守るために積極的な措置を講じることが極めて重要である」と「世界のりん酸塩と加里資源の大部分はわずか数か国に集中しており、サプライチェーンの脆弱性や地政学的不安定にさらされている。過去数年間の出来事は、食料安全保障が国家安全保障であることを私たちに示しており、今こそこれらの重要な資源についての話し方を変える時期に来ている。」という。

\* アメリカアイオワ州モンゴメリ郡のニュー・コープ肥料社（New Cooperative fertilizer）は在庫している UAN（尿素硝安液肥）を大量に East Nishnabotna 川に流出したことを受け、アイオワ州天然資源局はその事故の調査に乗り出した。肥料の流出がすでに止めたが、流出したものは East Nishnabotna 川の下流にあるミズーリ州までに到着した模様。アイオワ州天然資源局は川の近くにあるモンゴメリ郡、ページ郡、フリーモント郡の私有井戸所有者に対し、郡保健局に連絡して井戸の硝酸塩検査をするよう要請しているほか、地元、州、連邦当局と協力し、流出による影響を引き続き調査する予定である。

\* イギリスの政府開発金融機関 British International Investment はナイジェリアの Indorama Eleme Fertilizer and Chemicals 社に 6500 万ドルを投資すると発表した。こ

の投資は 12 億 5,000 万ドルの資金調達パッケージの一部で、Indorama 社のナイジェリアに計画中の肥料工場の新設と肥料輸出用の新しい港湾ターミナルの建設費用に充てる。Indorama 社はすでに 2 つの尿素プラントを稼働して、ナイジェリア GDP の 25% を創出して、労働力の約 30% を雇用し、同国の農業部門を支えている。この投資は、Indorama 社の 3 番目の尿素プラントの建設に使用し、完成後、尿素の年間生産能力 140 万トンを増やす見込みである。このプロジェクトにはアフリカ開発銀行も 7500 万ドルを融資する。

\* アメリカ農務省の Tom Vilsack 長官は、政府が 44 の州の再生可能エネルギーと肥料生産プロジェクトに 1 億 2,400 万ドルを投資すると発表した。その目的は、アメリカ農家、牧場主、農業生産者、地方中小企業のエネルギーコストを削減し、新たな収入を生み出し、雇用を創出するためである。この発表は Vilsack 長官がネブラスカ大学オマハ校を訪問中に行った。バイデン政権が発足して以来、農務省は肥料生産拡大プログラム (FPEP) を通じてすでに 1 億 7,400 万ドル以上を投資し、国内の肥料生産を拡大する全国 42 のプロジェクトを支援してきた。